

## 一戸町女子高生がいわて国体なぎなたで優勝 ～武道館での練習の成果を発揮～

### 1 はじめに

平成28年10月1日から希望郷いわて国体が開会となり、県内各地を会場に熱戦が繰り広げられています。二戸農林振興センター管内の一戸町では、町立体育館を会場に「なぎなた」が行われています。同町は「なぎなた」が盛んな地域であり、この国体の開催に合わせ、武道館を整備し、平成26年12月に完成しました。



【競技場の内観】

### 2 武道館の概要

武道館(別称「土道館」)は、平成25年度森林整備加速化・林業再生基金事業を活用し、木造で整備されました。構造は木造平屋建(1,027㎡)で、総事業費は2.6億円となっています。

館内には町産材をはじめとした木材がふんだんに使用されており、主に町産のカラマツによる大断面集成材とスギによる構造材となっています。

競技場は、剣道・なぎなたと柔道の競技場2面から成っており、全面に床暖房施設を導入したことで、冬期でも快適な環境のもと、練習を行うことができ、利用者である中・高校生から好評です。



【武道館の外観】

### 3 国体なぎなた優勝選手を輩出

武道館は平成27年1月から供用を開始し、これまでの利用状況は月延1,000名超となっており、放課後には、連日地元中高生がなぎなたなどの練習に足を運んでいます。

そのような中、この施設で練習し、研鑽に励んだ地元女子高生がいわて国体のなぎなた演技競技で県勢初優勝を遂げました。この優勝は、今国体での本県初の栄冠にもなりました。

「なぎなたの一戸町」のイメージがありますが、町では8年前に国体誘致を機になぎなたの普及活動を開始したものであり、短期間での競技人口の増大と技術の向上により、今国体で取組成果が現れ、関係者は喜びに浸っています。



【なぎなた少年女子チーム】

※一戸町(HP)から提供

### 4 おわりに

当センターでは、本施設のように木造の利点を最大限発揮できる施設整備への支援を引き続き行っていきます。